

# 平成21年度 兵庫県国民保護共同実動訓練の概要



平成21年11月

内閣官房  
兵庫県  
神戸市

## 目 次

1 訓練の概要.....	1
(1)目的.....	2
(2)実施日時.....	2
(3)想定.....	2
(4)主な訓練実施場所.....	2
(5)主な訓練項目.....	5
(6)参加機関.....	6
(7)訓練評価.....	7
(8)国民保護研修会.....	7
2 訓練の流れ（シナリオ）.....	9
3 主な訓練の内容.....	13
(1)災害等対処訓練.....	14
(2)医療救護、傷病者搬送訓練.....	18
(3)避難、救援訓練.....	22
(4)テログループ捕捉訓練.....	26
(5)緊急対処事態対策本部等の運営訓練.....	28
<b>参考1</b> 過去に実施した国民保護共同実動訓練について.....	29
(1) 長野県国民保護共同実動訓練（平成20年度）.....	29
(2) 千葉県国民保護共同実動訓練（平成19年度）.....	30
(3) 鳥取県国民保護共同実動訓練（平成18年度）.....	31
<b>【参考2】</b> 国民保護あれこれ.....	33

# 1 訓練の概要

## (1) 目的

国民保護法に基づき、国、地方公共団体、関係機関ならびに地域住民が一体となって共同実動訓練を実施し、国民保護計画の検証・確認等を行う。緊急処理事態における関係機関相互の機能確認及び連携強化など、国民保護に関する対処能力の向上を図るとともに、国民の保護のための措置に対する国民の理解を促進する。

## (2) 実施日時

平成21年11月30日(月) 午前9時30分から午後1時00分

## (3) 想定

人と防災未来センター(防災未来館)において、国籍不明のテログループによる化学剤散布事案が発生し、多数の死傷者が発生する。次いで、人と防災未来センター内(ひと未来館)で爆発物が発見される。さらに、ホームズスタジアム神戸で爆発物(サリンと思われる液体入り)らしきものが発見される。当該テログループの一部はHAT神戸南側海上を小型ボートで逃走する。

## (4) 主な訓練実施場所

### ア 人と防災未来センター

(神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2)

- ・ 化学剤散布テロに伴う救出、救助、除染、検知等
- ・ 除染前医療
- ・ 爆発物処理



### イ 兵庫県災害医療センター

(神戸市中央区脇浜海岸通1-3-1)

- ・ 化学剤曝露者に対する医療救護(救援)
- ・ 化学剤曝露者の搬送



### ウ 神戸赤十字病院

(神戸市中央区脇浜海岸通1-3-1)

- ・ 化学剤曝露者に対する医療救護(救援)



### エ 日本赤十字社兵庫県支部

(神戸市中央区脇浜海岸通1-4-5)

- ・ 化学剤曝露者に対する除染

- オ 兵庫県こころのケアセンター  
(神戸市中央区脇浜海岸通1-3-2)
- ・ 化学剤散布現場からの避難者に対する救援
  - ・ 避難者に対するメンタルヘルスケア



- カ なぎさ公園  
(神戸市中央区脇浜海岸通1)
- ・ 化学剤散布現場からの避難者に対する救援
  - ・ 小型ボートで逃走するテログループの捕捉等



- キ 神戸市立医療センター中央市民病院  
(神戸市中央区港島中町4-6)
- ・ 化学剤曝露者に対する医療救護(救援)



- ク 神戸大学医学部附属病院  
(神戸市中央区楠町7-5-2)
- ・ 化学剤曝露者に対する医療救護(救援)



- ケ ホームスタジアム神戸  
(神戸市兵庫区御崎町1-2-2)
- ・ 化学剤、爆発物発見に伴う域外避難  
(図上訓練)



- コ 兵庫県庁  
(神戸市中央区下山手通5-10-1)
- ・ 県緊急対処事態対策本部の運営等
  - ・ 合同対策協議会開催



- サ 総理大臣官邸  
・ 兵庫県庁とのTV会議



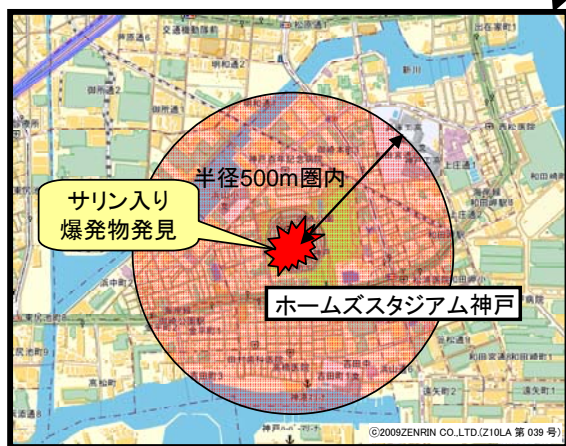
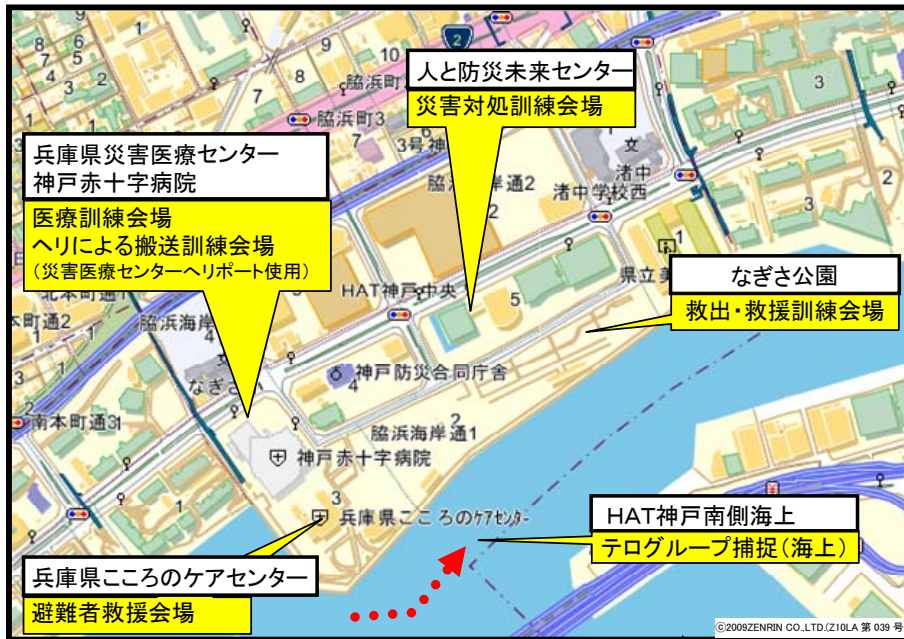


図1 主な訓練実施場所

## (5) 主な訓練項目

### 【災害等対処訓練】

- ア 防災未来館における化学剤散布対処訓練
- イ ひと未来館における爆発物処理訓練（退避・誘導含む。）
- ウ なぎさ公園における医療要員搬送訓練

### 【医療救護、傷病者搬送訓練】

- エ 防災未来館における医療救護訓練
- オ 兵庫県災害医療センターにおける医療救護訓練
- カ 神戸赤十字病院における医療救護訓練（日本赤十字社兵庫県支部における除染訓練を含む。）
- キ 神戸市立医療センター中央市民病院における医療救護訓練
- ク 神戸大学医学部附属病院における医療救護訓練
- ケ 兵庫県災害医療センターにおける医療本部の運営訓練

### 【避難、救援訓練】

- コ 兵庫県こころのケアセンターにおける避難・救援訓練
- サ なぎさ公園における給食訓練

### 【テログループ捕捉訓練】

- シ H A T神戸南側海上におけるテログループ捕捉訓練

### 【緊急処理事態対策本部等の運営訓練】

- ス T V会議・合同対策協議会運営訓練
- セ 情報伝達訓練

## (6) 参加機関

### ア 主催者

内閣官房、兵庫県、神戸市

### イ 地方公共団体

大阪府、兵庫県内全市町（神戸市除く。）

### ウ 指定行政機関

警察庁、消防庁、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、海上保安庁、防衛省

### エ 指定地方行政機関等

第五管区海上保安本部、神戸海上保安部

### オ 指定公共機関、指定地方公共機関

日本赤十字社兵庫県支部

### カ 警察関係

兵庫県警察本部

### キ 消防関係

神戸市消防局、神戸市中央消防団、西宮市消防局、尼崎市消防局、芦屋市消防本部、兵庫県消防防災航空隊

### ク 自衛隊関係

陸上自衛隊中部方面隊、自衛隊兵庫地方協力本部、海上自衛隊呉地方隊、航空自衛隊航空総隊

### ケ その他関係機関

大阪大学医学部附属病院、大阪府立泉州救命救急センター、柏原赤十字病院、学校法人ヒラタ学園、神戸医療福祉専門学校、神戸港保安委員会、神戸市看護大学、神戸市立医療センター中央市民病院、神戸赤十字病院、神戸大学医学部附属病院、国立精神・神経センター精神保健研究所、財団法人ひょうご震災記念21世紀研究機構、財団法人日本中毒情報センター、財団法人リモートセンシング技術センター（RESTEC）、独立行政法人宇宙航空研究開発機構（JAXA）、独立行政法人国際協力機構 JICA 兵庫、中町赤十字病院、姫路赤十字看護専門学校、姫路赤十字病院、兵庫医科大学、兵庫県こころのケアセンター、兵庫県災害医療センター、兵庫県赤十字血液センター、兵庫県連合婦人会等（五十音順）



## (7) 訓練評価

下記体制により、外部有識者による評価を実施する。

<委員長>	大阪府立急性期・総合医療センター副院長	吉岡敏治
<委員>	防衛医科大学校救急部救命救急センター長教授	池内尚司
<委員>	東京消防庁警防部特殊災害課長	石川義彦
<委員>	陸上自衛隊化学学校装備研究課長	行方 聡
<委員>	警視庁警備部理事官危機管理対策官	平林新一
<委員>	日本医科大学付属病院高度救命救急センター講師	布施 明
<委員>	鳥取大学救急災害科教授	本間正人
<委員>	NPO 法人災害看護支援機構理事長	山崎達枝

## (8) 国民保護研修会

一般の市民の皆様にも国民保護について一層のご理解をいただくとともに、今回の訓練の円滑な実施及び訓練参加機関相互の認識の共通化など、訓練のより効果的な実施を図ることを目的として、訓練実施前の平成21年11月17日(火)に訓練開催地兵庫県で国民保護研修会を開催。



平成21年度  
国民保護研修会 in 兵庫

兵庫県では11月30日に国民保護共同実動訓練を実施します。これに先立ちまして、関係者の方々はもとより一般の市民のみならず、NBCテロ等が発生した際の救援活動、医療活動等をご理解頂くために、研修会を開催します。

11月17日(火) 18:30~20:00 (17:45 開場) **入場無料** (定員 700名)

神戸新聞 松方ホール  
神戸市中央区東川崎町 1-5-7 神戸情報文化ビル4階

◇JR「神戸」駅、市営地下鉄海岸線「ルバーランド」駅より徒歩約10分  
◇神戸高速鉄道「高速神戸」駅より徒歩約15分  
※車、専用駐車場はございませんので、お車で研修の際は、周辺の有料駐車場をご利用下さい。

プログラム

- ◇おあいさつ (兵庫県知事 井戸 敏三)
- ◇基調講演「テロなどの大規模災害と救急医療のあり方について」内閣官房NBC災害対策専門官 奥村 徹
- ◇パネルディスカッション「NBCテロ発生時における医療のあり方 (兵庫県訓練想定から)」

パネリスト

 小澤 修一 兵庫県災害医療センター長	 山本 あい子 兵庫県立大学地域ケア開発研究所教授	 櫻井 修一 内閣官房内閣事務官	 奥村 徹 内閣官房 NBC 災害対策専門官
--	--	---	--

コーディネーター

お申し込み方法(2009年11月10日必着)※チラシの裏面に申し込み用紙となっておりますので、必要事項を記入の上、FAXで申し込み下さい。また、インターネットからも申し込みすることができますので、チラシの裏面に記載の「内閣官房 国民保護ポータルサイト」をご覧ください。

※申し込みの際は、郵便振替口座とさせていただきます。ご振替、お振込みは必ずお振込み先にご確認下さい。国民保護ポータルサイトから申し込みいただいた方には、お振替番号をお知らせしますので、お振込みの際にお振替番号をご入力ください。

※お振替の振込先は、お振込みの際にお振替先を記載させていただきますので、ご了承くださいませようお願いします。

【お問い合わせ】 国民保護ポータルサイトの問合せ先にお送りください。お振込み先や振替の問い合わせ先は別途お知らせさせていただきます。また、各自マスクをご持参ください。会場内ではマスクの着用をお願いします。

お申し込みは、「内閣官房 国民保護ポータルサイト」<http://www.kokuminhogo.go.jp/>へ  
主催：内閣官房 / 兵庫県



## 2 訓練の流れ（シナリオ）

表1 主な訓練シナリオの流れ

時間	事案の概要	政府の主な動き	兵庫県、神戸市の主な動き
9:30	・テログループが人と防災未来センター（防災未来館）において化学剤を散布し、逃走。負傷者100名程度発生	・官邸対策室設置、緊急参集チーム招集	・救出・救助活動開始 ・兵庫県災害対策本部設置 ・神戸市災害対策本部設置
10:00		・政府派遣要員が兵庫県庁に向けて出発	・負傷者を医療機関等に搬送し、医療救護
10:30	・人と防災未来センター内で爆発物発見  ・ホームズスタジアム神戸で爆発物（サリンと思われる液体入り）らしきものを発見		
11:00	・HAT 神戸南側海上において小型ボートで逃走中のテログループを発見	・緊急対処事態認定、警報発令、避難措置の指示、救援の指示 ・国民保護等派遣	・兵庫県緊急対処事態対策本部設置 ・神戸市緊急対処事態対策本部設置 ・避難措置の指示、救援の指示を受け、住民に避難を指示 ・住民の避難開始
11:30	・逃走中のテログループを捕捉		
12:00		・政府派遣要員が兵庫県庁に到着	
12:30		・兵庫県庁とのTV会議	・官邸とのTV会議 ・合同対策協議会
13:00			

※青字は想定（訓練では実施しません）



図2 訓練想定



### **3 主な訓練の内容**

(1) 災害等対処訓練

ア 場所

人と防災未来センター（防災未来館、ひと未来館）、なぎさ公園

イ 時間

9:30～11:30

ウ 概要

【防災未来館における化学剤散布対処訓練】

テログループによる化学剤散布に伴い、現場において救出・救助および医療活動等の訓練を実施する。また、現地調整所を設置し、活動調整や情報共有等の訓練を実施する。

【ひと未来館における爆発物処理訓練】

テログループの設置した爆発物の発見に伴い、現場において避難誘導および爆発物処理等の訓練を実施する。

【なぎさ公園における医療要員搬送訓練】

ヘリによる医療要員(陸上自衛隊、DMAT)の投入訓練を実施する。

表2 災害等対処訓練の流れ

時刻	訓練シナリオ
9:30	<ul style="list-style-type: none"><li>・テログループが化学剤散布、被害発生</li><li>・市消防局、県警が現場に到着</li><li>・市消防局が現場指揮所を設置</li><li>・県警が現場指揮所を設置</li><li>・県警NBCテロ対策班到着</li><li>・救出・救助開始</li><li>・県、市の連絡員到着、現地調整所設置</li><li>・医療機関の医療救護班、DMAT到着</li><li>・トリアージ、一次除染開始</li><li>・近隣応援消防本部到着</li></ul>
10:30	<ul style="list-style-type: none"><li>・陸上自衛隊の部隊等が到着</li><li>・爆発物発見、県警による処理開始</li><li>・非曝露者の避難誘導開始</li><li>・救出活動完了</li><li>・爆発物処理完了</li></ul>
11:30	<ul style="list-style-type: none"><li>・サリン中和作業完了</li><li>・災害等対処訓練終了</li></ul>





図3 活動図

### 「現地調整所」とは

政府が緊急対処事態と認めるような大規模なテロ現場では、二次的攻撃への警戒、負傷者の救護及び避難誘導などを警察、消防、自衛隊、海保及び医療などの各機関が、対応していくこととなります。このような現場で効果的かつ安全な活動を確保するには、各機関が横断的に連携していくことが不可欠です。

「現地調整所」は、この横断的連携が円滑に行われることを目的に設置されるもので、県や市の対策本部とのパイプ役となる現地派遣員(県、市職員)も交え、各機関が情報を持ち寄り、全体の状況を共有しながら、活動や連携の調整を行っていきます。

### 今回の訓練での「現地調整所」

今回の訓練で「現地調整所」がその役割を特に期待される場面は、以下のとおりです。

- ・ 防災未来館周辺のゾーニング(化学剤等の汚染状況による地域区分)の調整  
警察、消防及び医療関係者が持ち寄った情報から、ゾーニングエリアの統一のための調整を行います。
- ・ 現場医療の活動調整  
化学剤の汚染地域等で活動する医療チームと警察、消防及び自衛隊が負傷者救護と安全管理の活動調整を行います。
- ・ 爆発物発見情報の共有と統一的な活動統制の調整  
警察の緊急の情報(ひと未来館で爆発物発見)を各機関が共有し、所要の対応(緊急退避等)の調整を行います。



現地調整所の運営① (H20 長野)



現地調整所の運営② (H20 長野)

【参考】訓練イメージ（これまでの訓練記録写真による）



関係機関の現場到着 (H19 千葉)



救助の開始 (H19 千葉)



化学剤の検知 (H19 千葉)



重症者の救出・救助 (H20 長野)



陸上自衛隊の部隊等の到着 (H18 鳥取)



一次除染 (H18 鳥取)



非曝露者の避難誘導 (H20 長野)



エリア除染 (H20 長野)

## (2) 医療救護、傷病者搬送訓練

### ア 場所

人と防災未来センター（防災未来館）、兵庫県災害医療センター、  
神戸赤十字病院、神戸市立医療センター中央市民病院、  
神戸大学医学部附属病院

### イ 時間

9:35～13:00（H A T 神戸周辺については 11:30 終了）

### ウ 概要

#### 【防災未来館における医療救護訓練】

防災未来館において曝露し救出された傷病者に対する医療救護（除染前医療）訓練を実施する。

#### 【兵庫県災害医療センターにおける医療救護訓練】

防災未来館から搬送された傷病者に対する医療救護およびヘリによる県外への搬送訓練を実施する。

#### 【神戸赤十字病院・日本赤十字社兵庫県支部における医療救護訓練】

防災未来館から搬送された傷病者に対する医療救護訓練を実施する。

#### 【神戸市立医療センター中央市民病院における医療救護訓練】

防災未来館から搬送された傷病者に対する医療救護訓練を実施する。

#### 【神戸大学医学部附属病院における医療救護訓練】

防災未来館から搬送された傷病者に対する医療救護訓練を実施する。

#### 【医療本部の運営訓練】

兵庫県災害医療センターに設置する医療本部から県内外の医療機関への情報伝達等の訓練を実施する。

表3 医療救護、傷病者搬送訓練の流れ

時間	訓練シナリオ
9:35	<ul style="list-style-type: none"> <li>・軽症患者の一部が消防等到着前に自主的に徒歩移動を開始</li> <li>・兵庫県災害医療センターからのドクターカーにより現場に医師到着</li> <li>・DMAT派遣要請</li> <li>・神戸市立医療センター中央市民病院よりドクターカーにより現場に医師が到着</li> </ul>
9:40	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県消防ヘリによりなぎさ公園に神戸大学医学部附属病院DMAT到着、除染前医療開始</li> </ul>
9:45	<ul style="list-style-type: none"> <li>・兵庫県災害医療センターより現場に医療チーム到着</li> </ul>
9:50	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トリアージ実施</li> <li>・救急車により現場に神戸赤十字病院医療救護班到着</li> </ul>
9:55	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海保ヘリにより兵庫県災害医療センターヘリポートに泉州DMAT到着</li> </ul>
10:00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消防、陸上自衛隊車両により、兵庫県災害医療センターおよび神戸赤十字病院へ患者搬送開始</li> </ul>
10:15	<ul style="list-style-type: none"> <li>・兵庫県災害医療センターおよび神戸赤十字病院で患者収容開始</li> <li>・重傷者、中等症者に対する治療実施</li> </ul>
10:25	<ul style="list-style-type: none"> <li>・兵庫県災害医療センターヘリポートに患者搬送用の大阪府ドクターヘリが到着</li> </ul>
10:40	<ul style="list-style-type: none"> <li>・屋上ヘリポートから大阪府ドクターヘリによる搬送開始</li> </ul>
10:50	<ul style="list-style-type: none"> <li>・兵庫県災害医療センターヘリポートに患者搬送用の陸上自衛隊ヘリが到着</li> </ul>
11:30	<ul style="list-style-type: none"> <li>・屋上ヘリポートから陸上自衛隊ヘリによる搬送開始</li> <li>・神戸大学医学部附属病院および神戸市立医療センター中央市民病院で患者収容開始</li> </ul> <p>(訓練上、10:30からの医療訓練について時間をずらして実施)</p>
13:00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療訓練終了</li> </ul>



図4 活動図

COLUMN :

除染前医療

いわゆる NBC(Nuclear: 核、Biological:生物剤、C: Chemical: 化学剤)兵器がテロの手段として使われる場合、それぞれの危険から市民を守る手段のひとつが、除染(健康障害の原因となる物質を除去する事)です。除染では、汚染された服を着替えたり、体に付着した汚染を水で洗い流したりしますが、テロ後、除染のシステムを立ち上げ、被害者の除染を始めるまでには少なくとも30分前後はかかるものと考えられています。

現在、医療は除染後に始まることになっていますので、重症の被害者の治療の開始までにも同じく30分前後要することになります。この治療開始の遅れは国際的に問題となっており、各国で様々な試みが行われています。

今回の訓練では、医療従事者(医師、看護師)及び救急教育を受けた消防職員も防護服を着て、現場で除染前に治療行為を行う試みを試験的に行う事にしました。具体的には、一刻も早く解毒剤を投与し、呼吸の通り道である「気道」を確保して呼吸を補助すること等が行われます。この際の活動の安全管理は、消防機関が行いますが、特に除染前医療では、消防と医療の緊密なる連携が求められるところです。

【参考】訓練イメージ（これまでの訓練記録写真による）



DMA Tによるトリアージ (H20 長野)



救急車による搬送 (H20 長野)



ヘリによる県外への搬送 (H20 長野)



病院での重症者に対する医療 (H20 長野)

### (3) 避難、救援訓練

#### ア 場所

兵庫県こころのケアセンター

#### イ 時間

9:35～11:30

#### ウ 概要

##### 【兵庫県こころのケアセンターにおける避難・救援訓練】

防災未来館から避難した化学剤非曝露者に対する健康相談、安否確認等を実施する。

##### 【なぎさ公園における給食訓練】

陸上自衛隊等による、避難所の非曝露者に対する炊き出しの訓練を実施する。

表4 住民避難、救援訓練の流れ

時間	訓練シナリオ
9:30	・ひと未来館の非曝露者が屋内退避
9:50	・兵庫県および神戸市職員が兵庫県こころのケアセンターに到着
10:00	・健康相談要員到着
10:10	・避難所設置
10:25	・陸上自衛隊の炊き出しによる給食開始
10:30	・屋内退避中のひと未来館で爆発物発見 ・県警、消防団により、屋内退避している非曝露者を兵庫県こころのケアセンター（避難所）に向け避難誘導開始
10:40	・非曝露者が兵庫県こころのケアセンターに順次到着
10:45	・健康相談開始
11:00	・非曝露者の収容完了
11:30	・避難・救援訓練終了



大規模な自然災害や事件・事故が起こった場合、被災者・被害者の身体面での治療行為が必要であることはもちろんですが、近年は、それに加えて、精神面でのフォローの必要性がいられています。

大規模災害が起こると、家族や親しい知人、家財を失うことや、あるいは災害後の生活環境の大きな変化や将来の生活への漠然とした不安が、精神的に大きなストレスとなります。これが原因で、気持ちや体のバランスを崩すことがあります。その多くは一時的なもので、自然に回復します。

しかし、ストレスが長引いたりする場合には、うつ病、パニック発作、PTSD(心的外傷後ストレス障害)などの精神疾患を引き起こすこともあります。災害が起きた直後の被災者・被害者への精神面のフォローとして、これから起こりうる症状とその回復の見通しについて、十分にお知らせすることが重要です。特に、化学剤を用いたテロの場合には、事件後に被災者が分散してしまい、後からフォローに入ることは難しいこともあり、発災直後に、避難所などの現場で情報を流すことが重要と考えられています。

今回の訓練においては、専門家の知見を得て、このようなお知らせを行うためのチラシを作成し、避難所に避難した方に配布することを予定しています。(右図参照)

今回作成したチラシは一つの試みですが、今後、万一、大規模な災害などが発生した際に、今回の訓練での取組みを参考に、各自自治体・各実働機関において、身体的な救出救護だけでなく、被災者のメンタルヘルスにも十分に配慮した取組みが行われることが期待されると思います。

### 災害にあわれた皆様へ

- 災害は誰にとっても大きなストレスです。気持ちや体のバランスをくずすことがあります。多くの場合は自然に回復します。心配なことがあっても、ゆっくりと息をしながら、しっかりと行動しましょう。周囲の人と声を掛け合うことも大切です。
- 次のようなことは、普通に見られます。
  - ・眠れない、食欲がない、胃腸の調子が悪い
  - ・ドキドキ、そわそわ、はらはら、する
  - ・疲れやすい、気持ちが落ち込む、やる気が出ない
  - ・涙もろかったり、怒りっぽくなる
  - ・考えや言葉が出てこない、ぼんやりする など
- 心身の不調をやわらげようとして、カフェイン(コーヒー、紅茶、緑茶など)や、お酒、タバコを増やす人がいます。これらは不安や不眠を悪化させることがあるので、注意が必要です。
- もっと詳しく聞きたいときや、良くならないとき、仕事や家事に影響が出たときには、お気軽にお電話ください。ご家族についての相談でも結構です。

#### お問合せ窓口

- ・兵庫県健康相談ホットライン 078-0000-0000
- ・神戸市健康相談ホットライン 078-0000-0000

兵庫県・神戸市



図5 活動図

COLUMN :

ご遺族へのグリーフケア

大規模災害でご家族や親しい知人が犠牲になった場合、残された方の悲しみは非常に強いものになります。

警察では、遺族を含む犯罪の被害者の方に対する様々な支援を行っており、兵庫県警察本部においても、犯罪被害者支援室を設置して、被害者の視点に立った取組みを実践しています。

一方、JR福知山線脱線事故を契機に、「大規模災害で亡くなった家族・知人が、現場でどのような状況にあり、どのような治療を受けたのかを知りたい」という遺族の方々からの切実な願いを受け、救急医・監察医・心療内科医などの有志で「日本DMORT研究会」\*が設立されました。(※DMORT〈ディモート〉=Disaster Mortuary Operational Response Team〈災害時遺族・遺体対応派遣チーム〉)

今回の訓練では、兵庫県警察本部犯罪被害者支援室と、日本DMORT研究会が共同して、遺族の方のグリーフ(悲嘆)ケアを行うことを予定しています。

大規模災害が起きた場合のご遺族の悲しみを和らげるための支援について、今回の訓練での成果などを活用して、引き続き研究が進められることが期待されます。

【参考】訓練イメージ（これまでの訓練記録写真による）



避難誘導 (H20 長野)



避難所に到着する避難住民 (H19 静岡)



避難所における安否確認 (H19 千葉)



避難所内の様子 (H20 長野)



避難所における問診 (H20 長野)



炊き出し (H20 長野)

#### (4) テログループ捕捉訓練

##### ア 場所

H A T 神戸南側海上

##### イ 時間

11:10~11:30

##### ウ 概要

【H A T 神戸南側海上におけるテログループ捕捉訓練】

H A T 神戸南側海上において、小型ボートで逃走中のテログループに対する第五管区海上保安本部による捕捉訓練を実施する。

表5 テログループ捕捉訓練の流れ

時間	訓練シナリオ
11:10	・ H A T 神戸南側海上において小型ボートで逃走中のテログループ発見 ・ 第五管区海上保安本部による追跡開始
11:25	・ 逃走中のテログループを第五管区海上保安本部が捕捉  ・ 捕捉したテログループがサリン入り爆発物のホームスタ神戸への設置と別働グループによる連続テロを示唆
11:30	・ テログループ捕捉訓練終了



図6 活動図

【参考】訓練イメージ（これまでの訓練記録写真による）



海上での武装グループの制圧 (H19 千葉)

(5) 緊急対処事態対策本部等の運営訓練

ア 場所

兵庫県庁

イ 時間

12:40～13:00

ウ 概要

【TV会議・合同対策協議会運営訓練（兵庫県庁）】

政府、兵庫県、神戸市および関係機関（警察、自衛隊等）による合同対策協議会を開催する。

- ・ 事態の状況に関する情報共有および緊急対処保護措置に関する協議等の実施。
- ・ 政府緊急対処事態対策本部とのTV会議の実施。

【情報伝達訓練】

総理大臣官邸から兵庫県庁・県内全市町への情報伝達訓練を実施する。

【参考】訓練イメージ（これまでの訓練記録写真による）



合同対策協議会の状況 (H20 長野)



官邸とのTV会議 (H20 長野)

## 参考 1 過去に実施した国民保護共同実動訓練について

### (1) 長野県国民保護共同実動訓練（平成 20 年度）

#### ア 主催者

内閣官房、長野県、長野市

#### イ 実施年月日

平成 20 年 11 月 26 日（水） 9:00～13:00

#### ウ 訓練想定

長野市で開催される国際スケート大会の会場において、国籍不明のテログループによる化学剤散布事案が発生し、多数の死傷者が発生する。

また、当該グループが逃走の後、化学剤を所持して長野駅構内に立てこもる。



化学剤散布現場での救助



現地調整所での連携



病院でのトリアージ



テログループの鎮圧



避難者に対する健康調査



県庁と官邸の TV 会議

## (2) 千葉県国民保護共同実動訓練（平成 19 年度）

### ア 主催者

内閣官房、千葉県、千葉市

### イ 実施年月日

平成 19 年 11 月 21 日（水） 11:00～14:30

### ウ 訓練想定

千葉市内の鉄道駅等において連続爆破事案が発生したことにより多数の死傷者が発生する。

また東京湾に侵入した不審な貨物船から化学剤が散布されるとともに、さらに大量の散布が示唆される。



爆破テロ現場での救急医療



化学剤による負傷者の救助



千葉港での訓練状況



住民避難



武装グループの鎮圧



県庁と官邸の TV 会議



### (3) 鳥取県国民保護共同実動訓練（平成 18 年度）

#### ア 主催者

内閣官房、鳥取県、米子市

#### イ 実施年月日

平成 18 年 11 月 26 日（日） 9:30～14:30

#### ウ 訓練想定

鳥取県米子市において、イベント開催に伴い多数の市民が集まるスポーツ施設（鳥取県立武道館）で国籍不明の武装グループによる化学剤爆発飛散事案が発生し、多数の死傷者が発生する。

逃走した武装グループは公共の施設（鳥取県消防学校）に立てこもり、武装グループが保有している多量の化学剤の散布を示唆する。

また、鳥取県立武道館近隣（弓ヶ浜公園駐車場）において未使用の爆発物が発見される。



化学剤散布現場での救助・救出



エリア除染



住民避難



避難所での救護・救援



政府現地本部長・県知事現地到着



合同対策協議会



## 国民保護法とは

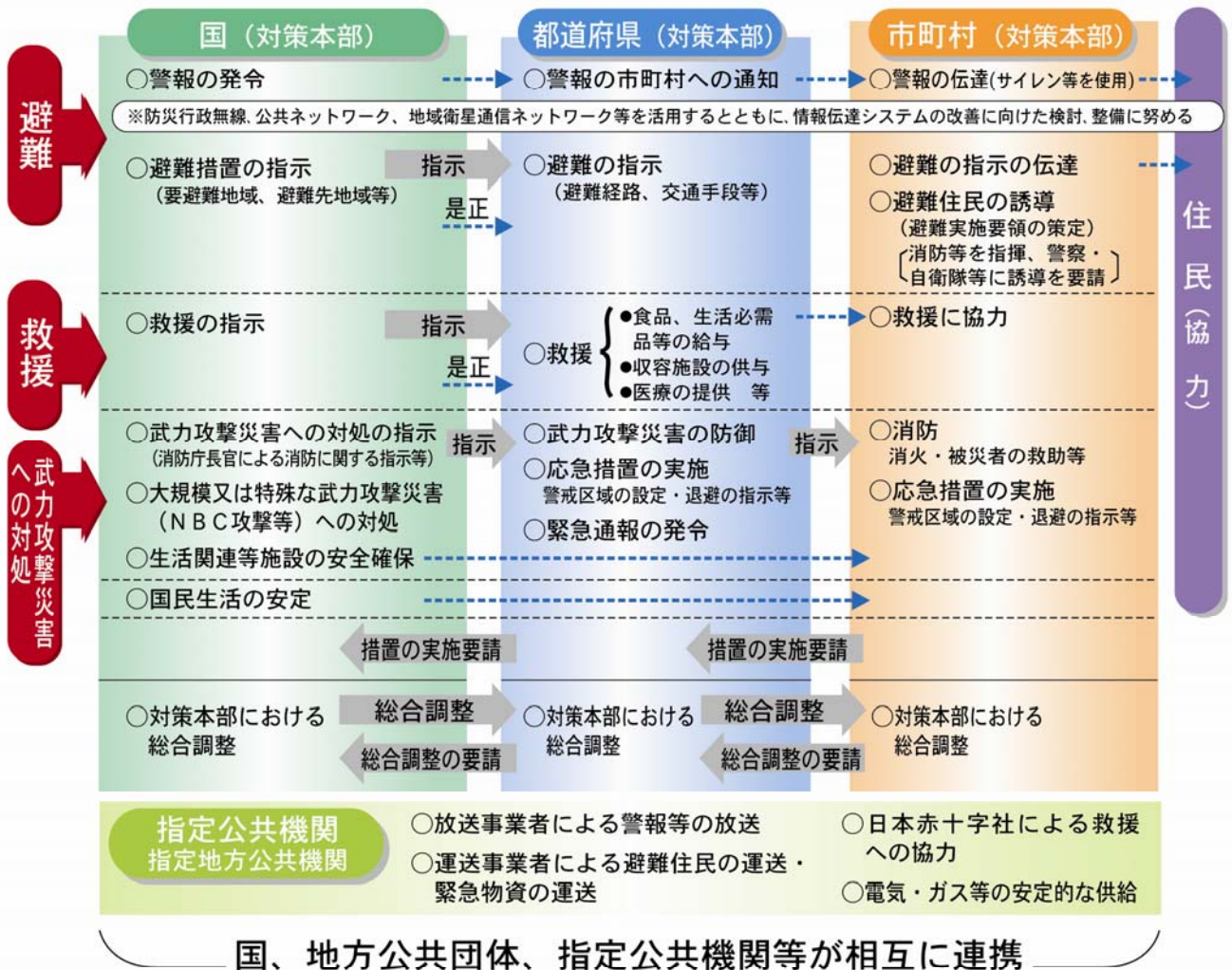
我が国を取り巻く安全保障環境については、冷戦終結後10年以上が経過し、我が国に対する本格的な侵略事態が発生する危険性は低下しているものの、大量破壊兵器や弾道ミサイルの拡散、国際テロ組織等の活動を含む新たな脅威や平和と安全に影響を与える多様な事態への対応が差し迫った課題となっています。

こうした状況も踏まえ、平成16年9月、我が国に対する外部からの武力攻撃などにおいて、国民の生命、身体及び財産を保護することなどを目的とした国民保護法(武力攻撃事態等における国民の保護のための措置に関する法律)が施行されました。

国民保護法においては、国は、武力攻撃やテロなどから国民の生命、身体又は財産を保護するため緊急の必要があるときは、警報を発令して、みなさんに危険な状態になったことをお知らせすることとなっています。そして、国をはじめ、都道府県、市町村などの関係機関が、国民の保護のために情報の提供や避難の誘導、避難所の開設、救援物資の配布、救助活動、医療活動などの措置に迅速かつ全力を挙げて対応することとしています。

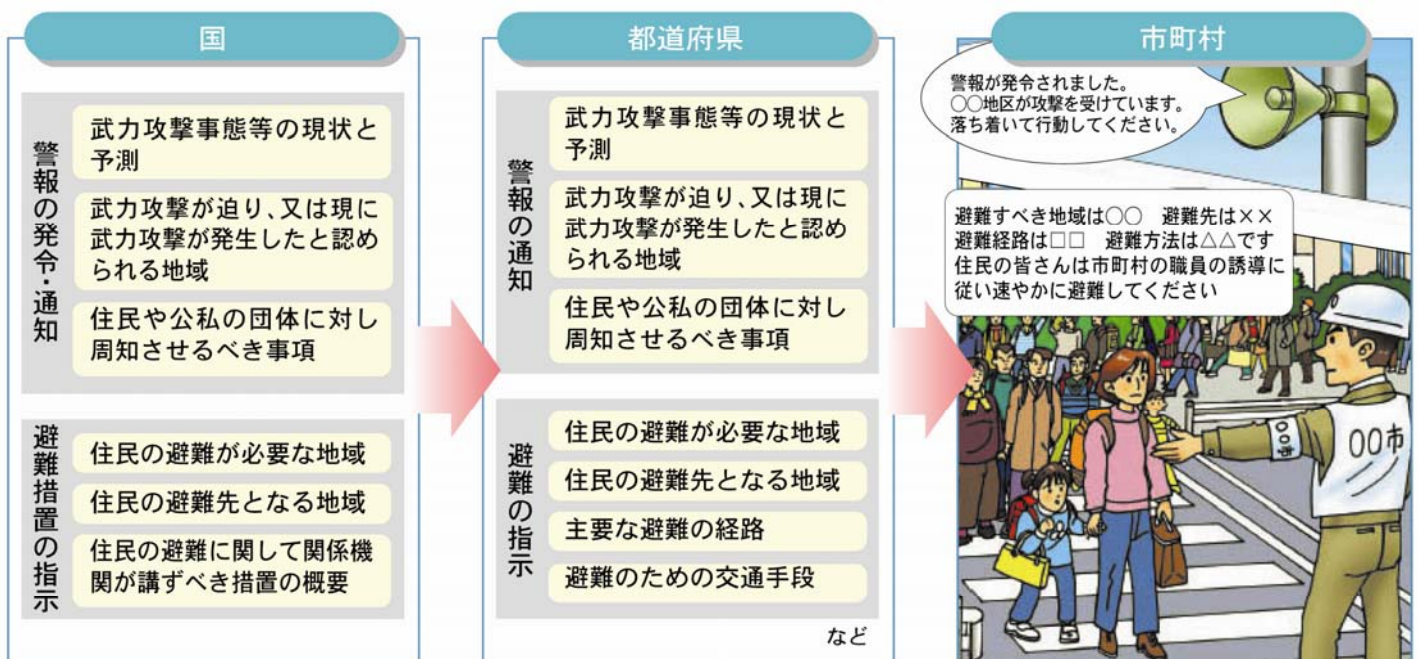
# 武力攻撃事態等における国民の保護のための仕組み

国民の保護のための措置は大きく、避難、救援、武力攻撃災害への対処の3つから構成されます。



## 避難の仕組み

- 国は、武力攻撃から国民の生命、身体又は財産を保護するため緊急の必要があると認めるときは、警報を発令して、直ちに都道府県知事に通知します。さらに、住民の避難が必要なときは都道府県知事に対して、住民の避難措置を講ずるよう指示します。
- これを受け、都道府県知事は、警報の通知や避難の指示を行います。そして、放送や市町村の防災行政無線を通じて、皆さんに情報が伝達されます。



## 救援の仕組み

- 救援活動は、都道府県知事が中心となって、市町村や日本赤十字社と力を合わせて実施します。

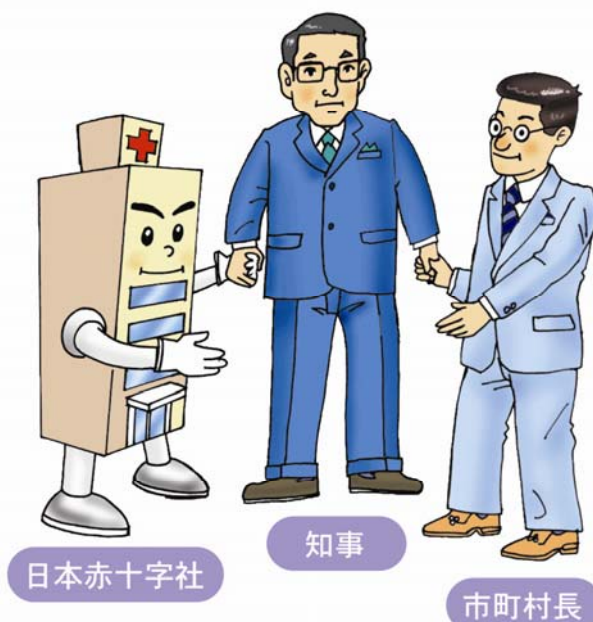
### 避難場所や医療の提供

避難してきた人々に宿泊場所や食品、医薬品などを提供



### 安否情報の収集や提供

行方不明になったり家族と離ればなれになった人たちのために安否情報の収集や提供を行う



## 武力攻撃災害への対処

- 武力攻撃に伴う被害をできるだけ小さくするために、国と地方公共団体が一体となって対処します。

ダムや発電所などの  
施設の警備



放射性物質などによる  
汚染の拡大を防止



警戒区域を設定

住民が危険な場所に入らない  
よう警戒区域を設定



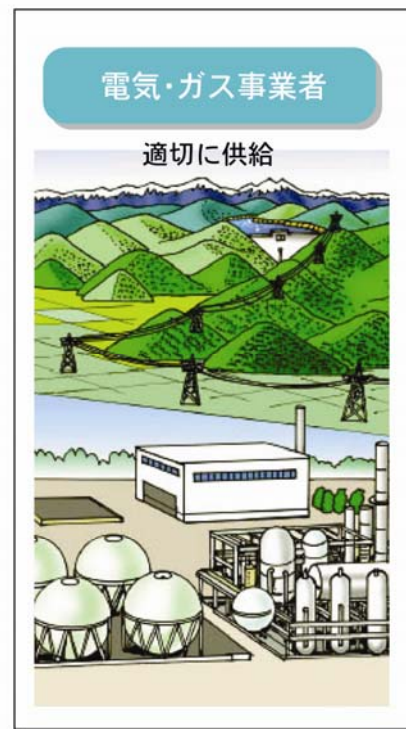
消防活動

消火や被災者の救助などの消  
防活動



## 指定公共機関の役割

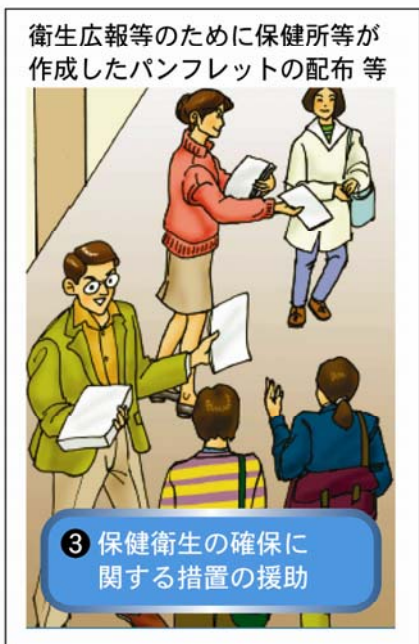
- 指定公共機関とは、国や地方公共団体と協力して、国民の保護のための措置を実施する機関のことをいいます。日本赤十字社や、日本放送協会(NHK)などの公共的機関や、電力会社やガス会社などの公益的事業を営む法人が、政令等で指定されています。
- 指定公共機関には、警報の放送や避難住民の運送など各々の業務に係る役割を果たしていただきます。





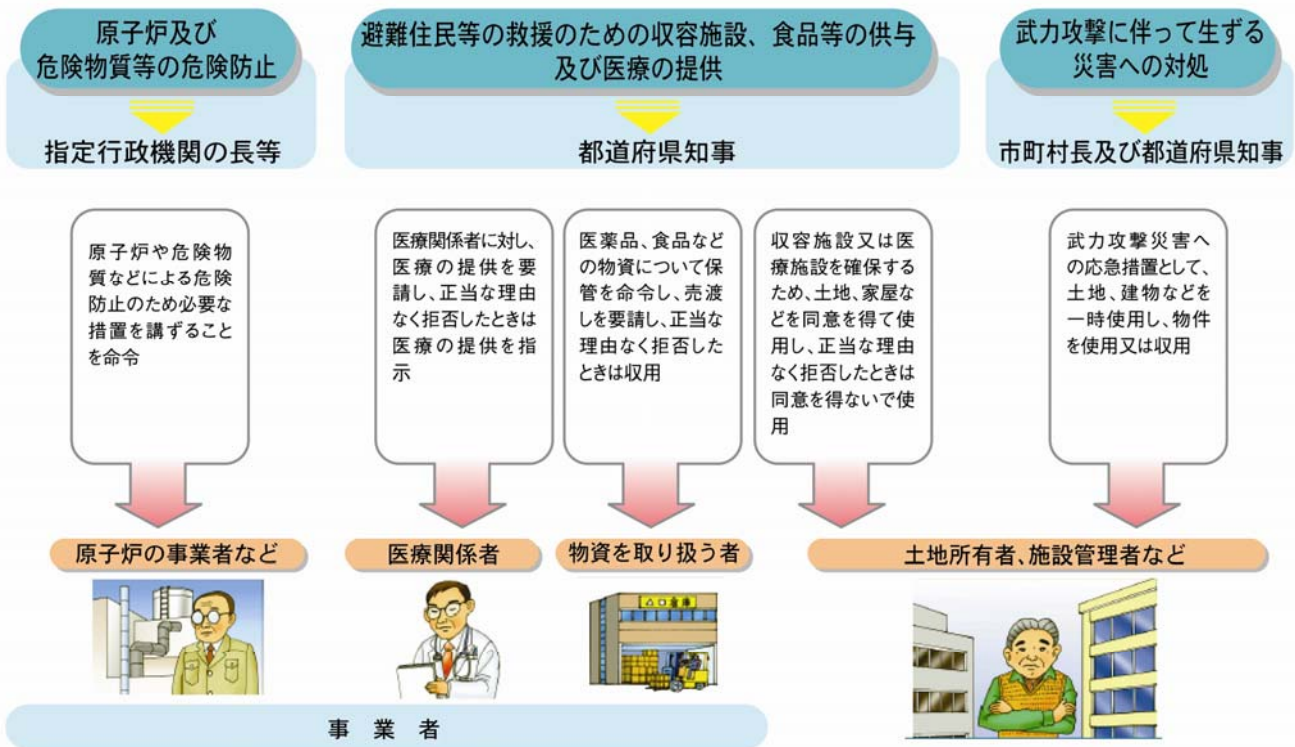
## 国民の協力

- 国民保護法では、「国民は、国民の保護のための措置の実施に関し協力を要請されたときは、必要な協力をするよう努めるものとする」、「国民の協力は国民の自発的な意思にゆだねられるものであって、その要請に当たって強制にわたることがあってはならない」とされています。
- 国や地方公共団体は、協力の要請を行う場合は、安全の確保に十分配慮しなければなりません。さらに、武力攻撃事態等において要請に基づく協力により国民が死亡・負傷等した場合は、その損害を補償します。また、住民の自主的な防災組織やボランティアによる国民の保護のための活動に対し、必要な支援を行います。



## 国民の権利および義務に関する措置

- 国民保護法においては、「国民の保護のための措置を実施するに当たっては、日本国憲法の保障する国民の自由と権利が尊重されなければならない」(第5条第1項)、「国民の自由と権利に制限が加えられるときであっても、その制限は当該国民の保護のための措置を実施するため必要最小限のものに限られ、かつ、公正かつ適正な手続の下に行われるものとし、いやしくも国民を差別的に取り扱い、並びに思想および良心の自由並びに表現の自由を侵すものであってはならない。」(第5条第2項)とされており、この原則に基づき、国民の権利および義務に関する措置については、限定的に規定されています。



## 武力攻撃事態の類型ごとの特徴

我が国に対する外部からの武力攻撃については、以下の4つの類型を想定しています。

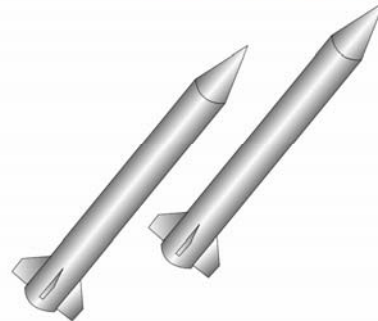
### 着上陸侵攻



#### ■特徴

- 船舶により上陸する場合は、沿岸部が当初の侵攻目標となりやすい。
- 航空機による場合は、沿岸部に近い空港が攻撃目標となりやすい。
- 国民保護措置を実施すべき地域が広範囲にわたるとともに、期間が比較的長期に及ぶことも想定されます。

### 弾道ミサイル



#### ■特徴

- 発射前に着弾地域を特定することが極めて困難であり、短時間での着弾が予想されます。
- 弾頭の種類（通常弾頭であるのか、核・生物・化学弾頭であるのか）を着弾前に特定するのが困難であり、弾頭の種類に応じて、被害の様相や対応が大きく異なります。

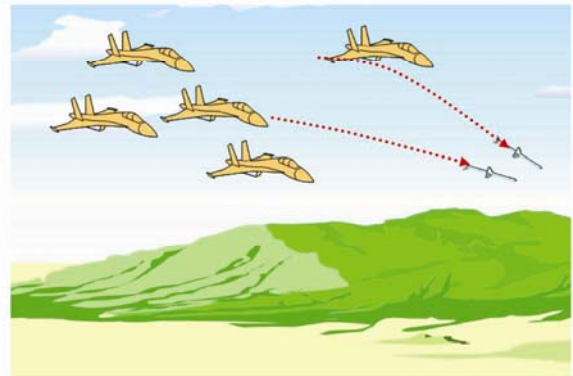
### ゲリラ・特殊部隊



#### ■特徴

- 突発的に被害が発生することも考えられます。
- 被害は比較的狭い範囲に限定されるのが一般的ですが、攻撃目標となる施設（原子力事業所などの生活関連等施設など）の種類によっては、被害が拡大する恐れがあります。
- 核・生物・化学兵器や放射性物質を散布することにより放射能汚染を引き起こすことを意図した爆弾（ダーティボム）が使用されることも想定されます。

### 航空攻撃



#### ■特徴

- 弾道ミサイル攻撃の場合に比べ、その兆候を察知することは比較的容易ですが、予め攻撃目標を特定することが困難です。
- 都市部の主要な施設やライフラインのインフラ施設が目標となることも想定されます。

## 緊急対処事態とは

武力攻撃の手段に準ずる手段を用いて多数の人を殺傷する行為が発生した事態または当該行為が発生する明白な危険が切迫していると認められるに至った事態で、国民の生命、身体及び財産を保護するため、国家として緊急に対処することが必要な事態をいいます。

攻撃の対象施設や攻撃の手段の種類により、以下に示すような事態例が考えられています。

### ～攻撃対象施設等による分類～

危険性を内在する物質を有する施設等に対する攻撃が行われる事態

〈事態例〉

#### 原子力事業所などの破壊

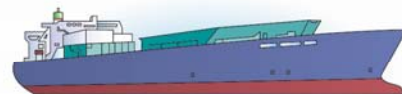
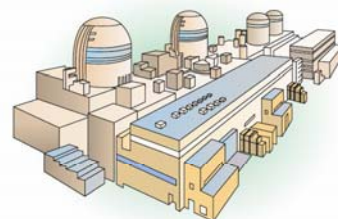
大量の放射性物質などが放出され、周辺住民が被ばくするとともに、汚染された飲食物を摂取した住民が被ばくします。

#### 石油コンビナート、可燃性ガス貯蔵施設などの爆破

爆発・火災の発生により住民に被害が発生するとともに、建物やライフラインなどの被災により、社会経済活動に支障が生じます。

#### 危険物積載船などへの攻撃

危険物の拡散により沿岸住民への被害が発生するとともに、港湾や航路の閉塞、海洋資源の汚染など、社会経済活動に支障が生じます。

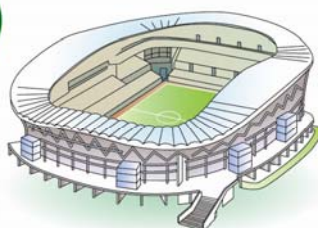


多数の人が集合する施設及び大量輸送機関等に対する攻撃が行われる事態

〈事態例〉

#### 大規模集客施設、ターミナル駅などの爆破

爆破による人的被害が発生し、施設が崩壊した場合は被害が多大なものとなります。



## ～攻撃手段による分類～

多数の人を殺傷する特性を有する物質等による攻撃が行われる事態

### 〈事態例〉

放射性物質を散布することにより、放射能汚染を引き起こすことを意図した爆弾（ダーティボム）

爆弾の破片や飛び散った物体による被害、熱や炎による被害などが発生し、放射線によって正常な細胞機能が攪乱されると、後年、ガンを発症することもあります。



### 生物剤の大量散布

人に知られることなく散布することが可能です。また、発症するまでの潜伏期間に、感染した人々が移動し、後に生物剤が散布されたと判明した場合には、既に広域的に被害が発生している可能性があります。ヒトを媒体とする天然痘などの生物剤による攻撃が行われた場合には、二次感染により被害が拡大することが考えられます。

### 化学剤の大量散布

地形・気象などの影響を受けて、風下方向に拡散し、空気より重いサリンなどの神経剤は下をほうのように広がります。

破壊の手段として交通機関を用いた攻撃等が行われる事態

### 〈事態例〉

### 航空機などによる自爆テロ

爆発・火災などの発生により住民に被害が発生するとともに、建物やライフラインなどが被災し、社会経済活動に支障が生じます。



memo



武力攻撃やテロなどから身を守るために

**知っておこう、備えておこう。**

内閣官房

**国民保護ポータルサイト**

<http://www.kokuminhogo.go.jp/>